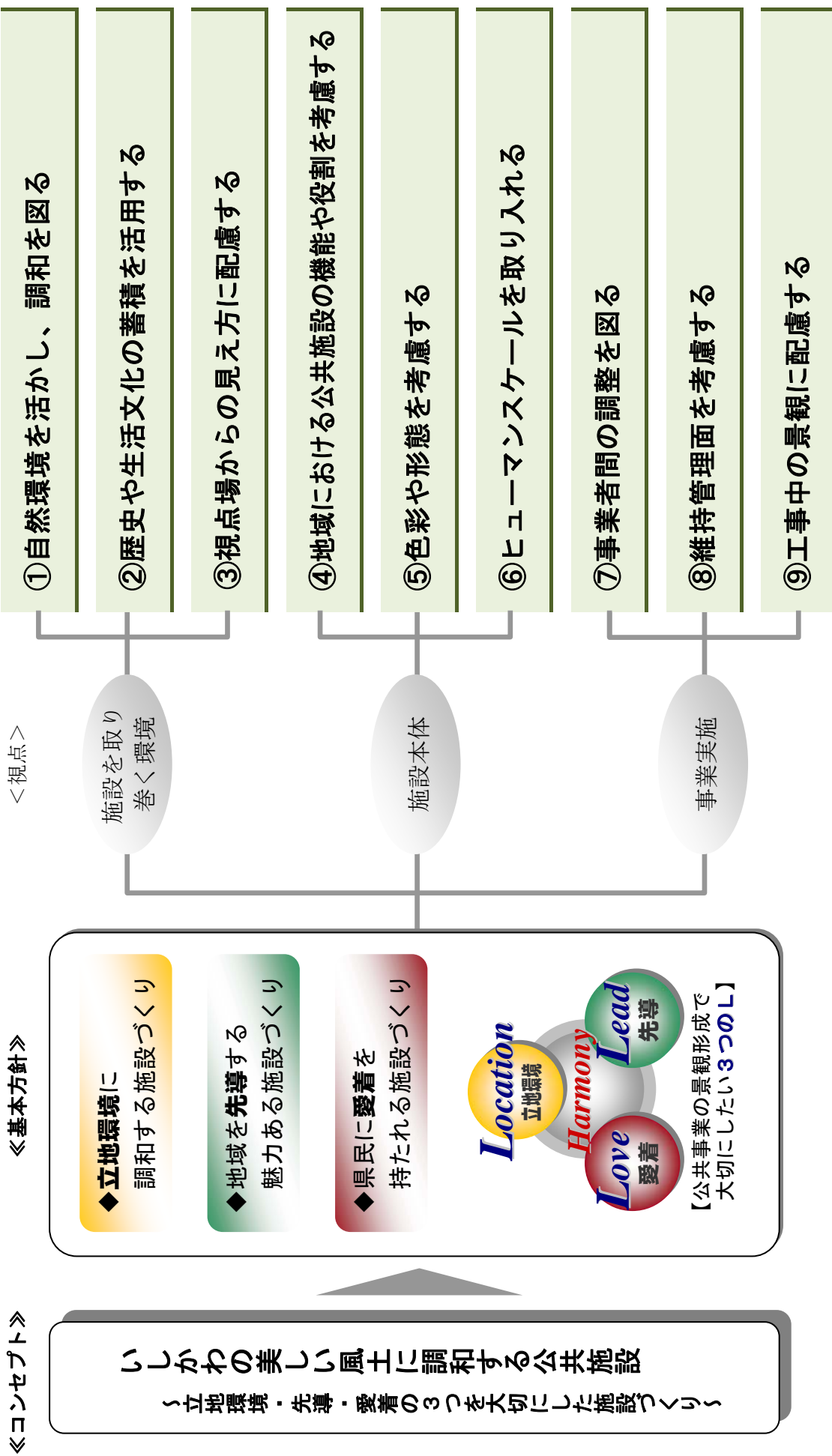


3 各施設共通の整備指針

(1) 共通の基本配慮事項

公共事業の景観形成のコンセプト・基本方針を踏まえ、各種公共事業において、共通して配慮すべき基本的な事項を以下のように定める。

《基本配慮事項》



《基本配慮事項》

①自然環境を活かし、調和を図る



- ・事業地の周辺環境や背景となる自然環境とのバランスに配慮して施設づくりを行う。
- ・海から山岳地までの変化に富んだ地形を活かし、地形の改変は最小限にとどめる。
- ・多様な生物が生息する自然環境を保全、創出する。
- ・広葉樹や草花の植栽、水辺空間の活用等により、四季折々の魅力が感じられる景観を創出し、潤いある地域環境の創造を先導する。
- ・緑化を推進することにより、環境負荷の軽減を図る。
- ・エコ・リサイクル製品や省エネ型の設備・構造を採用するなど、環境にやさしい施設づくりを目指す。



②歴史や生活文化の蓄積を活用する

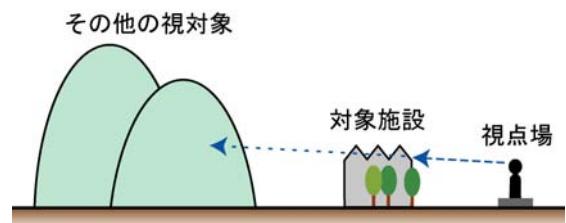


- ・地域の歴史的変遷、文化等を把握し、景観づくりに活かす。
- ・地域の将来動向などから地域の変化を予測する。
- ・地域の個性を表現する資源（景観資源、地場産材、工法・技術等）を活かす。ただし、過剰な演出とならないよう配慮する。
- ・地域住民の郷土への愛着、生活感覚等を尊重し、人々に親しまれる景観とする。
- ・歴史文化遺産などの地域の景観資源を保全・活用し、文化の創造、観光の推進を図る。
- ・建築物などの既存ストックを効果的に活用する。

③視点場からの見え方に配慮する



- ・視点場と対象施設、その他の視対象（山並み、景勝地、ランドマーク等）との関係を考慮し、眺望景観を阻害しないようにする。
- ・近景・中景・遠景、俯瞰景観や仰瞰景観など、様々な視点場からの見え方に配慮する。
- ・公共事業が率先して眺望景観に配慮した施設づくりを行うことにより、民間施設への啓発・波及を促進し、眺望景観の保全を図る。



④地域における公共施設の機能や役割を考慮する

Loca-
tion

Lead

Love

- ・施設の機能や役割、立地条件や利用特性を把握し、効果的な施設となるよう計画する。
- ・施設の本来の役割に加え、賑わい創出や地域活性化に資する施設を目指す。
- ・施設の機能や役割等から、景観上、その施設が「**図（主役）**」と「**地（脇役）**」のいずれであるかを判断する。「**図**」の場合は周辺に調和しつつ、地域を先導する景観デザインとし、「**地**」の場合は周辺との調和に重点を置いてデザインする。
- ・計画段階から**地域住民の意見**を取り入れる場を設けるなど、**県民ニーズの把握**に努める。



※「**図**」と「**地**」…物の見え方に関する基本的概念の一つ。「**図**」とは、全体の中で浮かび上がって見える部分を指し、「**地**」とは、その背景として知覚される部分を指す。

⑤色彩や形態を考慮する

Loca-
tion

Lead

Love

- ・色彩は、景観に与える影響が大きいため、周囲からの見え方に十分配慮する。
- ・**高彩度を避け、周辺環境（山間部、市街地等）と色彩や色調を合わせる**など、周囲の景観特性に調和するよう工夫する。
- ・**素材や方角、時間帯**などにより、色の見え方が変化することを考慮する。
- ・**ベースカラーやアクセントカラー**などの**配色、使用面積**を工夫する。
- ・建築物や構造物等の形態は、その施設が「**図（主役）**」と「**地（脇役）**」のいずれであるかによって、周辺との調和や先導性の演出のバランスを考慮してデザインする。



※色彩は、いしかわ景観総合計画における数値基準を参考にする（本ガイドライン p86 参照）。

⑥ヒューマンスケールを取り入れる

Loca-
tion

Love

- ・休憩施設や親水空間の整備、植栽等による潤いの演出、歩行空間の確保、バリアフリーなど、**利用者の利便性や快適性、スケール感、動線、目線**を考慮し、安全・安心に利用できる人にやさしい施設となるようデザインする。
- ・大規模な建築物や構造物等の計画にあたっては、周辺の街並みとの調和を図るとともに、**デザインの工夫、緑化**など、ヒューマンスケールを取り入れる。



※ヒューマンスケール…人間の感覚や動きに適合した、適切な空間の規模や物の大きさ。

⑦事業者間の調整を図る

Loca-
-tion

Lead

- ・事業者や事業時期の違いによって、隣接する同種の施設とデザインの不調和を招かないよう、組織間の連携を推進し、関連計画や周辺の事業を調べ、必要に応じて事業者間の調整を図る。
- ・道路と公共建築物など、隣接する施設はできる限り**事業相互で連携**し、エリアとして一体的に地域の景観を先導するような景観形成に努める。



⑧維持管理面を考慮する

Loca-
-tion

Lead

Love

- ・エイジング（材料の経年変化、樹木の成長等）や**維持管理のしやすさ**、ライフサイクルコスト、気候風土等を考慮し、長寿命化に対応した施設整備を行う。
- ・施設の劣化により良好な景観が損なわれないよう、計画的・効率的な維持管理を行う。
- ・県民参加を推進し、**地域住民が施設の活用や維持管理を行えるよう支援**する。また、計画段階から**地域住民等の意見を取り入れる場**を設け、維持管理に参画できる仕組みをつくるなど、**官民の協働と役割分担**による公共施設の管理・運用を目指す。



※ライフサイクルコスト…設計・建設・運営維持・修繕・解体まで、トータルでかかる費用（生涯費用）。

⑨工事中の景観に配慮する

Loca-
-tion

Love

- ・工事用看板、バリケード等は、デザインや色について**周辺との調和に配慮**するとともに、県民へのわかりやすい**情報提供**に努める。
- ・長期間の工事の際は、**仮囲いの設置**などにより、現場の**繁雑さを感じさせないよう工夫**する。
- ・仮囲いは、周辺の景観との調和に配慮して**すっきりとしたデザイン**とし、通行者に**圧迫感を感じさせないよう**、できる限り**敷地境界から後退**させて設置し、**緑化**に努める。

